

景気動向調査報告書

平成29年6月末時点における景気動向調査を実施しましたが、その概要は次のとおりでしたので報告いたします。

1 調査対象

項目 業種	対象企業数 (社)	回答企業数 (社)	回答率 (%)	前回回答率 (%)
製造業	80	38	47.5	41.3
建設業	40	18	45.0	32.5
小売業	70	32	45.7	41.5
宿泊施設業	40	17	42.5	51.3
合計	230	105	45.7	41.5

※回答状況は、調査対象企業230社の内105社で、回答率については、昨年度同期と比較すると47.8%から2.1%減少しているが、前回調査平成28年12月と比較すると41.5%から4.2%増加した。

2 調査方法 B・S・I 方式による。

<B・S・I方式>

景気全般について、「上昇傾向」「下降傾向」の度合いを数字に置き換えて指標化したもの。景気（の先行き）に対する経営者の観測をまとめて指標化したもので、前年同期（又は3ヶ月先を見据えて）に比較し増加（良い）と答えた企業数から減少（悪い）と答えた企業数を差し引き、全体（増加+ほぼ同じ+減少=企業総数）で除して得た数字がB・S・Iとなる。

例：

増加	同じ	減少	B S I
A	B	C	D
30	8	20	17

$$B \cdot S \cdot I (D) = \frac{A - C}{A + B + C}$$

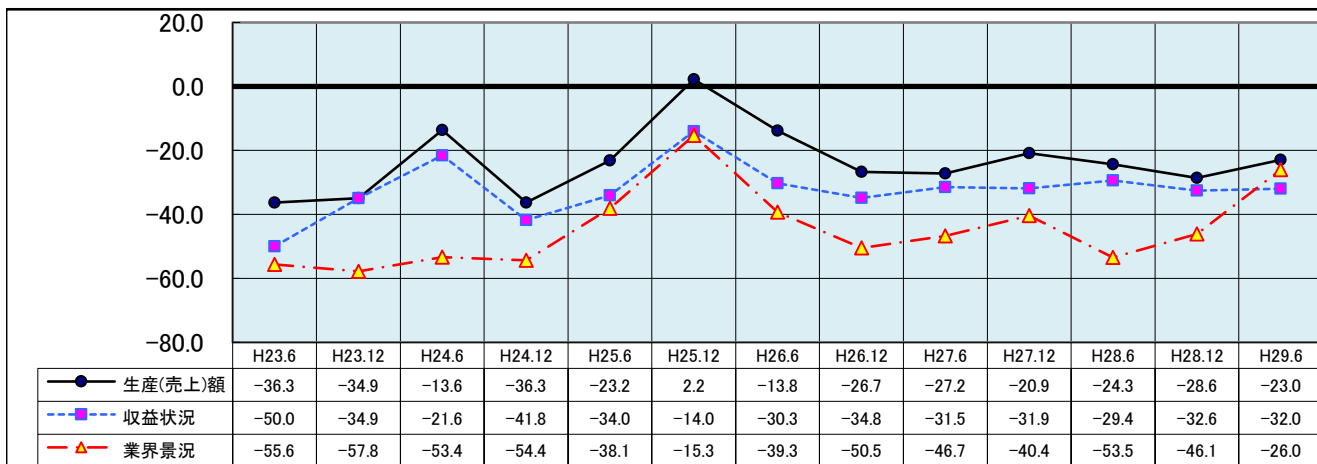
B・S・I	40.1以上	40.0～5.1	5.0～-5.0	-5.0～-40.0	-40.1以下
判断	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降

3 集計の結果、特徴的なことは次の通りであります。

【総合】

< 配布 230企業 回収105企業 回答率 45.7% >

生産・売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-23.0	-28.6	-24.3		-32.0	-32.6	-29.4		-26.0	-46.1	-53.5
	比較	5.6	1.3		比較	0.6	-2.6		比較	20.1	27.5

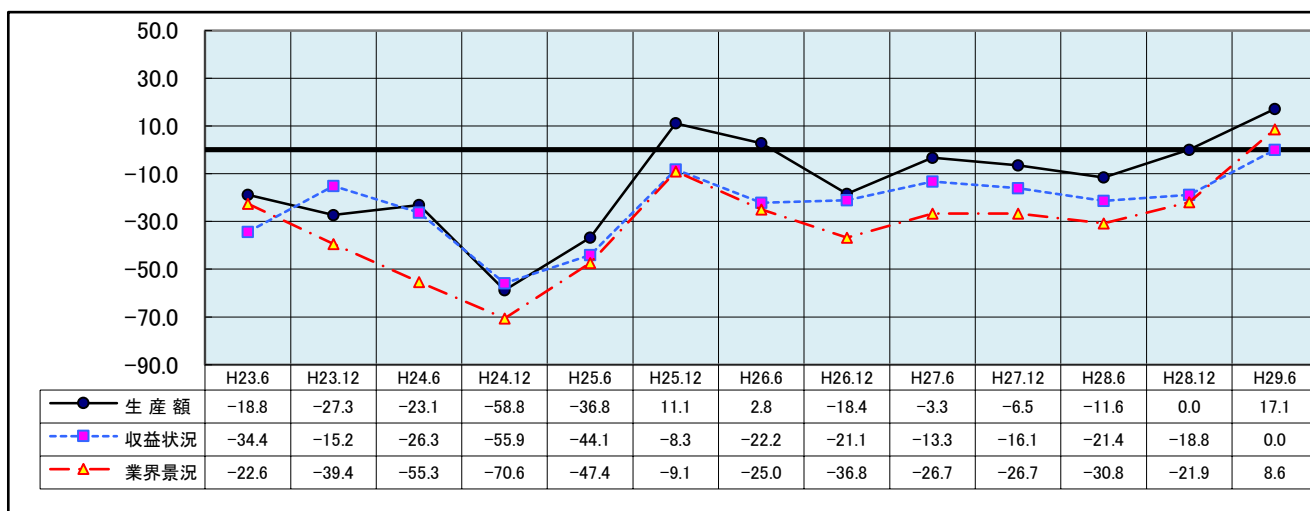


東北管内及び県内の経済情勢は、緩やかに持ち直しているとされているが、本市においては生産（売上）額・収益状況・業界景況とも依然としてマイナスの指標となっており景気は足踏み状態にある。収益状況は横ばい傾向にあるが、生産額はやや改善、業界景況も回復しており、今後、持ち直しが期待される。

【製造業】

< 配布 80企業 回収 38企業 回答率 47.5% >

生産額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	17.1	0.0	-11.6		0.0	-18.8	-21.4		8.6	-21.9	-30.8
	比較	17.1	28.7		比較	18.8	21.4		比較	30.5	39.4

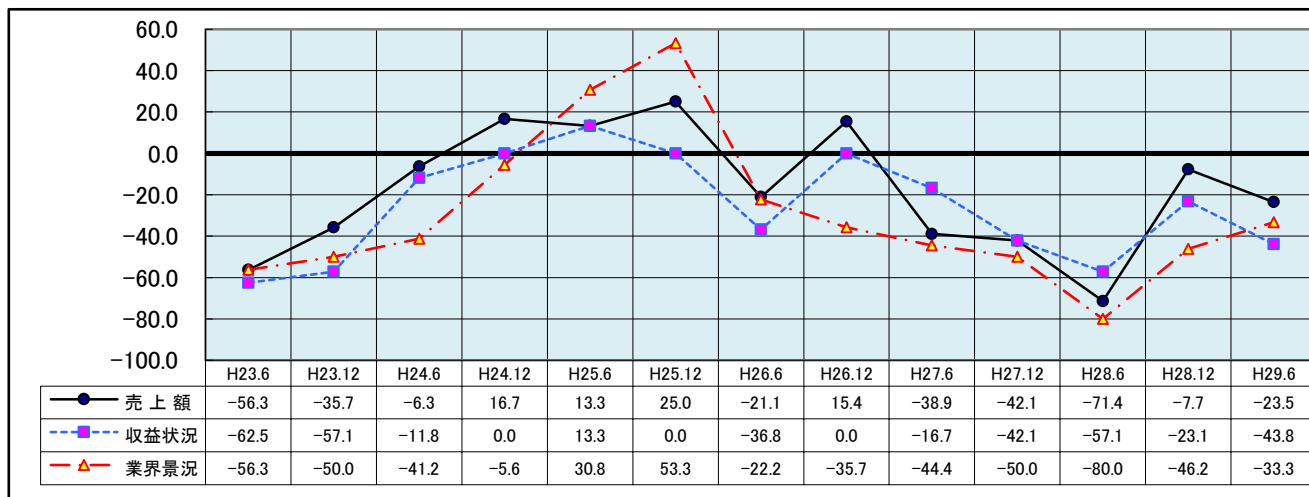


生産額・収益状況・業界景況ともにマイナスの指標を脱している。特に生産額は17.1となっており、増加15社（42.9%）、同じ11社（31.4%）、減少9社（25.7%）でやや上昇傾向となっている。特に業界景況は前回調査、前年調査と比較し大幅に改善しており、受注の改善が伺われる。

【建設業】

< 配布 40企業 回収 18企業 回答率 45.0% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-23.5	-7.7	-71.4		-43.8	-23.1	-57.1		-33.3	-46.2	-80.0
	比較	-15.8	47.9		比較	-20.7	13.3		比較	12.9	46.7

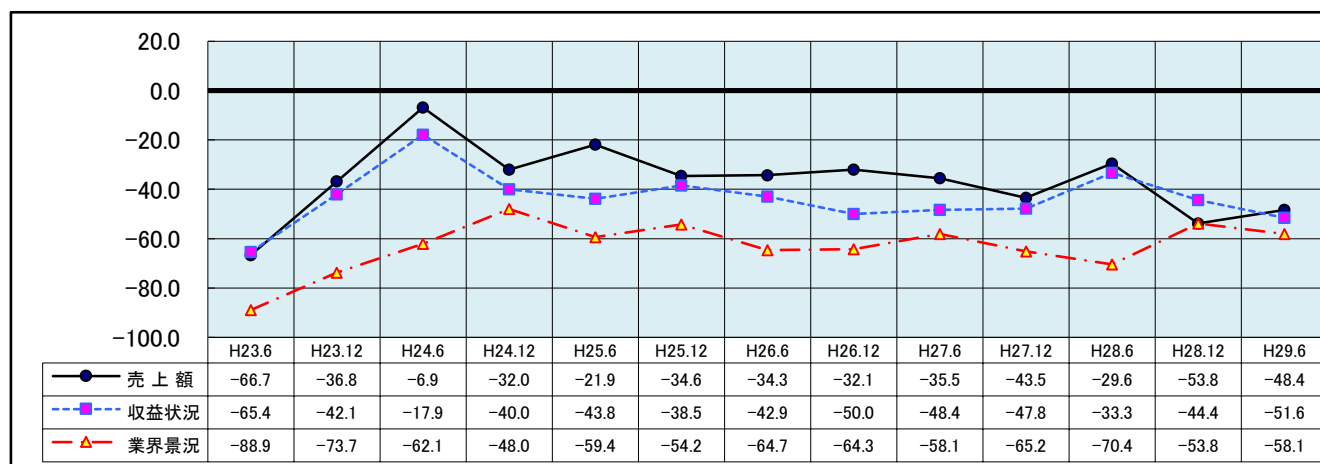


業界景況は前回調査と比べると回復しているが、売上額・収益状況ともに前回調査よりも下降している。売上額は増加3社（17.6%）、同じ7社（41.2%）、減少7社（41.2%）となっており、依然として厳しい状況が継続している。

【小売業】

< 配布 70企業 回収 32企業 回答率 45.7% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-48.4	-53.8	-29.6		-51.6	-44.4	-33.3		-58.1	-53.8	-70.4
	比較	5.4	-18.8		比較	-7.2	-18.3		比較	-4.3	12.3

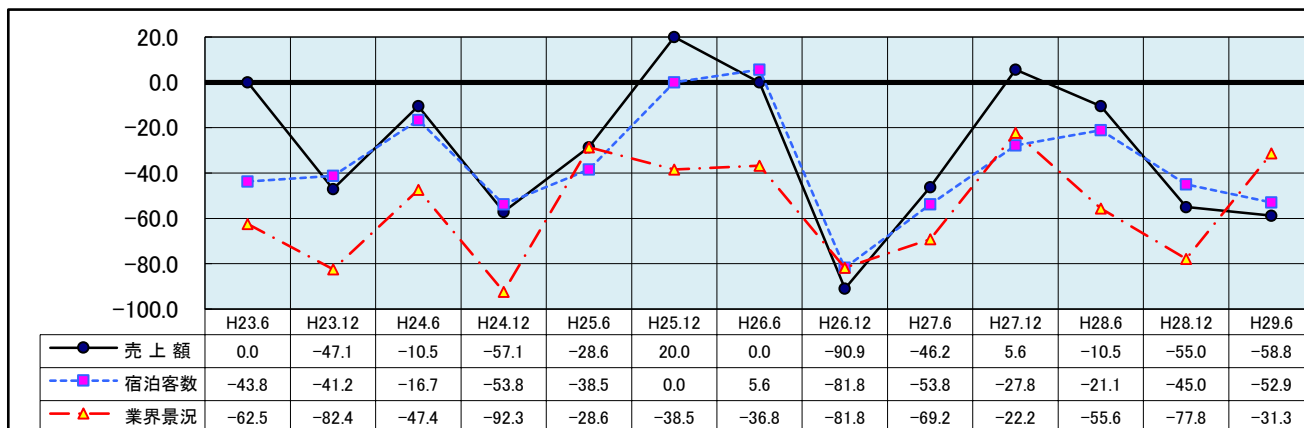


収益状況・業界景況ともに前回調査より下降している。売上額は前回調査よりやや回復しているものの、依然マイナスの状況となっている。売上額は増加1社（3.2%）、同じ14社（45.2%）、減少16社（51.6%）で、商店街の脆弱化もあり、依然として厳しい状況にあることが伺える。

【宿泊施設業】

< 配布 40企業 回収 17企業 回答率 42.5% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	宿泊客数	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-58.8	-55.0	-10.5		-52.9	-45.0	-21.1		-31.3	-77.8	-55.6
	比較	-3.8	-48.3		比較	-7.9	-31.8		比較	46.5	24.3



売上額・宿泊客数・業界景況ともにマイナスの数値となっており、厳しい状況が続いている。その中で業界景況は、7/30～8/2開催の平成29年度全国高等学校総合体育大会等に対する期待の表れからか回復傾向が見られたものの、宿泊客数は依然として減少傾向が続いており、引き続き旅行形態の変化や多様なニーズに対応した計画的誘客対策等が求められている。